

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和6年2月15日（木） 午後0時50分～午後5時20分

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
首席監察官、情報通信部長、地域監、公安委員会補佐官

第4 議題事項

警察官の特別派遣について

県警察から、島根県公安委員会からの援助の要求に係る警察官の特別派遣について説明があり、審議の上了承した。

第5 報告事項

1 令和5年中における遺失・取得物の取扱状況について

県警察から、令和5年中における遺失・拾得物の取扱状況について報告があった。

委員から、「遺失届出件数より拾得届出件数の方が多く、さらには遺失者への返還率も高いことは素晴らしいと思う」、「動物を拾得した場合の対応には苦勞すると思うが、命あるものなので、引き続き適切な対応をお願いしたい」旨の発言があった。

2 令和6年全国優秀警察職員表彰被表彰者の決定について

県警察から、全国優秀警察職員表彰の被表彰者が決定した旨の報告があった。

委員から、「名誉ある賞を受賞され、大変喜ばしいと思う」旨の発言があった。

3 令和5年中における少年非行及び子供の性被害の状況等について

県警察から、「非行少年総数は281人で、前年より54人（23.8%）増加」、「包括罪種別では、全ての罪種で増加、窃盗犯と粗暴犯で全体の76.4%を占める」、「児童ポルノ事犯の総検挙件数は42件で、前年より

5 件（13.5%）増加」した旨の報告があった。

委員から、「令和4年と比較すると非行件数が増加しているが、長期的にみると少年非行件数はかなり減少している。これは、これまでの県警察の取組の成果だと思う。少年非行については、県警察だけで対応していくのは難しい問題だと思うので、特に一度罪を犯した少年については、再び非行に走ることがないように、引き続き、教育委員会等の関係機関と連携し、立ち直りを支援する活動を推進していただきたい」、「先程、少年非行問題は、県警察と教育委員会等の学校側が連携して対応していく必要があるという話があったが、近年、IT化等の影響により学校現場でも教員と子供とのかかわりが薄くなっている実態を憂慮している」、「現在、県警察が実施している非行防止教室の中で、近年、被害が増加している自転車盗に関する内容を盛り込むという説明があったが、被害拡大防止のためには非常に有効な手段だと思う」旨の発言があった。

4 令和5年中の死体取扱状況について

県警察から、令和5年中の死体取扱状況について報告があった。

委員から、「以前、薬物等の接種が原因で死亡したとの報道があったが、専門的知識を有する検視官が現場に臨場しても、死因が薬物によるものとの判断は難しいと思うが、その場合はどのように対応しているのか」旨の質問があり、県警察から、「検視現場では、薬毒物検査等を実施しているなか、他殺の可能性や不審点が認められた場合は、司法解剖を行い死因の究明を行っている」旨の説明を行った。さらに委員から、「全国警察と比べて香川県警察は検視官の臨場率が高いようだが、どのような理由が考えられるのか」旨の質問があり、県警察から、「香川県は県の面積が狭いことから、管轄区域の広い県に比べて、検視官が現場に臨場しやすいという利点が考えられる。その他、県警察として、基本的には専門的知識を有する検視官を現場に臨場させている」旨の説明を行った。

5 警護の実施について

県警察から、1月中の警護の実施について報告があった。

第6 決裁

1 公安委員会定例会議会議録の作成及び公表について

（令和6年1月11日、同月18日、同月25日、同年2月1日開催分）

2 地域交通安全活動推進委員に対する感謝状の贈呈について

3 令和6年能登半島地震に係る援助要求（1月分）

4 臨時会議を開催しない場合における緊急報告する公安委員会の意思

決定方法等について

第7 その他

- 1 中国四国管区内公安委員会連絡会議の開催結果について
委員から、令和6年2月9日（金）に開催された「中国四国管区内公安委員会連絡会議」の結果について紹介がなされた。
- 2 死体遺棄事件への対応について
県警察から、死体遺棄の疑いで容疑者を逮捕した旨の報告があった。
- 3 運転免許証とマイナンバーカードの一体化について
県警察から、令和6年度末までに運転免許証とマイナンバーカードの一体化関連業務を開始する予定である旨の報告があった。
- 4 更新時講習の実施方法の見直しについて
県警察から、県民の利便性を向上させるため、現在、個別に実施している違反運転者講習及び初回更新者講習については、更新センター等で合同学級により実施することとした旨の報告があった。
- 5 運転免許試験の実施方法等の変更について
県警察から、指定自動車教習所を卒業せずに大型自動二輪免許等を受験する者の利便性向上等のため、運転免許試験の実施方法等を見直すこととした旨の報告があった。
- 6 令和5年中における被疑者取調べ監督の実施状況について
県警察から、令和5年中における被疑者取調べ監督の実施状況について報告があった。
- 7 広報誌「さぬきの安全」2024年版の説明について
県警察から、広報誌「さぬきの安全」2024年版の発行にあたり、記載内容等の説明が行われた。
- 8 運転免許の取消し等の審議について
県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。
- 9 行政処分の状況について
県警察から、令和6年1月分の運転免許に係る行政処分の状況について報告があった。